

児童労働ネットワーク主催

「なくそう！世界の児童労働」キャンペーン 企画書

(2006年3月15日作成、3月23日修正)

1. 趣旨・背景

児童労働は、子どもの基礎教育の機会を妨げたり、子どもの精神的、身体的および社会的成長に害を与える危険な労働をさします。借金のかたに売られる子ども、売春宿で働かされる子ども、戦争にかりだされる子ども兵士など、世界には2億4600万人、児童労働者と呼ばれる子どもたちが存在します。日本では、児童労働はどこか遠い国の問題だと考えられがちです。でも私たちが知らないうちに、児童労働で生産された商品を使っているかもしれません。また、人身取引やポルノなど直接日本で犠牲となる子どもたちも存在します。経済のグローバル化が進む現在、子どもたちの未来を守るのは私たちの責任です。

毎年6月12日は児童労働反対世界デー。これは、児童労働、特に最悪の形態の児童労働の撤廃に向けた世界的な動きに脚光を当てる日として国際労働機関（ILO）が2002年に決めました。毎年世界各地でさまざまな活動が展開されています。昨年日本では、ILO駐日事務所の主催により国連大学でセミナーを実施したほか、児童労働ネットワークの主催により、東京で「児童労働反対世界デー・ウォーク2005」を実施しました。児童労働ネットワークでは、国際社会の一員としてより多くの人がこの問題を知り、考え、そして行動するきっかけとなるように、今年もまたキャンペーンを企画しました。

特に今年2006年はドイツでサッカーワールドカップが開かれる年。かつては、高級なサッカーボールがパキスタンなど開発途上国の子どもたちの手によって作られていたこともありますが、フランスのワールドカップを機会に、多くの人々の努力によって子どもたちの状況は改善されてきています。例えば、パキスタンのシアルコットでは、ILO/IPECのプロジェクトにより、サッカーボールを作っていた子どもたち約6,000人が学校に通えるようになりました。このキャンペーンでは、世界中の多くの人々が熱狂するサッカーを通じて、人々の協力があれば子どもたちの状況は改善されることを伝え、世界中のすべての子どもたちが教育を受け、健康的に成長することができるように、みんなで一緒に行動していこうというメッセージを広げていきます。

2. キャンペーン概要

1) キャンペーン名称と表記：

「なくそう！世界の児童労働」キャンペーン

2) キャンペーン期間：

実施期間：2006年5月15日～6月30日

フォローアップ期間：2006年7月～9月

3) キャンペーンの目的：

児童労働のない世界を目指して、社会に対し幅広く児童労働問題について知らせると共に、行動する人を増やすことを目的とする。

具体的には、キャンペーンを通じて以下の中位目標を達成することを目指す。

I. 情報共有、理解促進、世論形成

- a) 各団体のイベントと、児童労働ネットワークによるその広報によって、幅広い層に児童労働問題に関する情報を発信し、市民レベルでの理解を促進する。
- b) メディアによる取材を通じて、世論形成を目指す。

II. ネットワーキング

- a) 児童労働ネットワークに加盟していないNGOや労働組合、個人との連携によって、緩やかな協力関係を形成する。また、児童労働ネットワークの充実につなげる。
- b) 各界の著名人にも理解者を作り、今後の活動につなげる。

III. 行動を促す機会の提供

- a) イベントにより多くの人の参加を募る。
- b) 児童労働ネットワーク加盟組織のプロジェクト支援のための募金を促す。

4) キャンペーンの活動場所：

日本全国、及び、インターネットウェブサイト上

5) キャンペーン主催と実施：

このキャンペーンは児童労働ネットワークが主催する。キャンペーンは児童労働ネットワークの会員、キャンペーンに賛同する団体、個人、企業によって構成され、この構成員が、キャンペーン期間中に上記3) キャンペーンの目的のいずれかを目的に含む事業を行うことにより実施される。

6) キャンペーン予算

収入 450,000円 (児童労働ネットワーク2005年度予算より)

支出 450,000円 (広報ツール作成、印刷費、送料通信費等)

7) 児童労働ネットワークについて

設立の経緯：

経済のグローバル化の中で、児童労働問題はもはや政府、国際機関、NGO だけではなく、産業、企業、労働組合の方々と共に解決を図るべき問題となってきた。経済大国である日本において、団体・個人をつなぎ、大きさや立場の違いに係わりなく対等に協働できるネットワークを構築することにより、問題解決に貢献し、国際社会における役割を果たしていきたい、そうした願いのもと、NGO、労働組合、国際機関等からの有志が集まり 2004 年 9 月にネットワークを設立した。

主な会員：

国際子ども権利センター
国際食品労連日本加盟労組連絡協議会 (IUF-JCC)
(財)国際労働財団(JILAF)
(社)アムネスティ・インターナショナル日本
(特活)ACE
(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン(FTCJ)
日本労働組合総連合会 (連合)
働く子どもの『遺産と伝説』キャンペーン(OLAL)
フェアトレード・リソースセンター
フード連合 (日本食品関連産業労働組合総連合会)
堀内 光子 (児童労働問題活動家、元 ILO 事務局長補)
UI ゼンセン同盟

(敬略称、五十音順)

児童労働ネットワークの活動：

定例学習会の開催を通じた情報交換とネットワークの形成、児童労働反対世界デーを中心としたイベントの開催を通じた意識啓発・提言活動、その他広報活動を通じ、児童労働問題の解決へ向けた日本からの貢献を目的に活動を展開。2005 年の児童労働反対世界デー (6/12) には、東京・渋谷にて「児童労働反対世界デー・ウォーク」を実施。2006 年度は、各方面から講師を招いて、児童労働と CSRなどをテーマに学習会を開催。

7) キャンペーン事務局の連絡先

児童労働ネットワーク事務局 担当：白木

〒110 0015 東京都台東区東上野 1 - 20 - 6 丸幸ビル 3F (特活) ACE 気付

電話/ FAX : 03-3835-7555 Eメール : cl_net@acejapan.org Web サイト : www.acejapan.org/cl-net

参考資料

児童労働反対世界デー・関連イベント一覧（2006年3月23日現在）

日程	曜日	イベント	主催
5月15日	月	ILO 写真展（6月16日まで開催）	ILO 駐日事務所
5月21日	日	児童労働撲滅キャンペーンイベント@大阪	NTT 労働組合
5月27日	土	児童労働ネットワーク定例勉強会（テーマ：フェアトレード）	児童労働ネットワーク
6月4日	日	児童労働撲滅キャンペーンイベント@横浜	NTT 労働組合
6月7日	水	カイヤシュ・サティヤルティ氏講演会@江戸川区立西葛西中学校	アムネスティ・インターナショナル日本
6月8日	木	児童労働反対世界デー記念講演会@都内大学 「インドの活動家が語るグローバル化と児童労働～大学生と考える日本企業のCSRと国際貢献」（仮）	(特活)ACE、アムネスティ・インターナショナル日本
6月9日	金	カイヤシュ・サティヤルティ氏講演会@三輪田学園	アムネスティ・インターナショナル日本
6月10日	土	児童労働シンポジウム@東京	アムネスティ・インターナショナル日本
		シンポジウム@千葉	(特活)JFSA(日本ファイバーリサイクル連帯協議会)
6月11日	日	児童労働映画上映会@東京	NGO - 労組国際協働フォーラム
		児童労働反対世界デー・ウォーク	児童労働ネットワーク
		公園イベント@千葉	(特活)JFSA(日本ファイバーリサイクル連帯協議会)
6月12日	月	「グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク」意見交換会	アムネスティ・インターナショナル日本
		記念イベント@国連大学	ILO 駐日事務所
6月18日	日	総会プレイベント・学習会	国際子ども権利センター
6月24日	土	チャリティフットサル大会	(特活)ACE

網掛けは、児童労働ネットワーク主催および児童労働ネットワーク会員団体主催のイベント